

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
420006	X-13-B-3-420006				×	×	×
授業科目	担当教員				×	×	×
情報システム特論	西山 茂	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1年次生】経営情報学部経営学科 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	× × × × × 専門 専門	× × × × × 選択 必修	× × × × × 3年 3年

授業目的

(1) 現実の社会状況に対する知見を広げるため、産官学等社会で活躍している方を講師に招き、講師の業務分野等のトピックをお話しして頂く。また、当該分野での ICT 利用方法等について学ぶ。

(2) 現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する：履修生自身が組織・運営する複数のチーム（プロジェクト）を編成する。各プロジェクトは役割分担を含む組織構成を決め、問題・課題（目標）設定、スケジュール設定を行い、進捗管理・成果管理法を決め、文書化する。計画に対する進捗を管理しながら活動し、目的達成を図る。15回目の授業でプロジェクト活動成果を報告する。

本授業は、以下とのディプロマポリシーに関連する。

<仕事の仕組みをシステム的に考え、データを重視した論理的な判断ができること。>

<自主的、計画的に情報を集め、考察し、自らの見解を加えて記述し発表する力があること。>

各回毎の授業内容

第 1 回

【授】授業オリエンテーション
【前・後】事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）

第 2 回

【授】外部講師による講義 1 「プロジェクト管理技術」に関する講義
【前・後】事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）

第 3 回

【授】外部講師による講義 2 「政府・自治体等の政策・動向」に関する講義
【前・後】事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）

第 4 回

【授】外部講師による講義 3 「社会状況、ICT 動向等」に関する講義
【前・後】事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）

第 5 回

【授】外部講師による講義 4 「社会状況、ICT 動向等」に関する講義
【前・後】事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）

第 6 回

【授】外部講師による講義 5 「社会状況、ICT 動向等」に関する講義
【前・後】事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）

第 7 回

【授】プロジェクト編成、キックオフ、課題の大枠、プロジェクト内役割分担（組織）の設定
【前・後】事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）

第 8 回

【授】プロジェクト活動 プロジェクト計画書策定、計画書レビュー、目的達成のための活動
【前・後】プロジェクト計画書策定、計画書レビューのために事前予習 2 時間、事後 2 時間を充てる

第 9 回

【授】プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理
【前・後】プロジェクト活動を事前 2 時間、事後 2 時間行うこと

第 10 回

【授】プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理
【前・後】プロジェクト活動を事前 2 時間、事後 2 時間行うこと

第 11 回

【授】プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理
【前・後】プロジェクト活動を事前 2 時間、事後 2 時間行うこと

第 12 回

【授】プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理
【前・後】プロジェクト活動を事前 2 時間、事後 2 時間行うこと

第 13 回

【授】プロジェクト活動 目的達成のための活動、成果の最終整理、進捗管理
【前・後】プロジェクト活動を事前 2 時間、事後 2 時間行うこと

第 14 回

【授】プロジェクト活動 成果報告資料作成
【前・後】成果報告に向けて、プロジェクト内議論、成果資料作成を事前、事後 2 時間行うこと

第 15 回

【授】プロジェクト活動 成果発表
【前・後】プロジェクト報告のため、発表練習を 2 時間、事後整理を 2 時間行うこと

第 16 回

【授】講評とまとめ 試験は実施しない。日々の活動及び成果報告を評価する
【前・後】プロジェクト報告のため、発表練習を 2 時間、事後整理を 2 時間行うこと

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

試験は実施しない。日々の活動及び成果報告を評価する。

・外部講師講義受講アンケート及び講義受講レポート提出（各回の講義内容の要点と所感）(5回) : 35%

・プロジェクト計画書 : 10%、プロジェクト成果発表 : 40%

・活動態度 : 10%、及び履修生個々に行う報告時の他プロジェクト評価 : 5%

・プロジェクト活動は必須である。プロジェクト評価を個人成績に反映する。プロジェクトメンバに登録してもプロジェクト活動（集団活動）に貢献しなかった者は評価しない。

<フィードバック法>

・プロジェクトの進捗、方向性については、毎時間各プロジェクトのリーダに発表させ、その場で教員が講評する。

・プロジェクト報告については、全報告終了後、時間内に教員が講評する。

教科書参考書

・教科書はない。毎回、講義スライドのコピーを配布する (HP や Campusmate 等の電子的手段) ほか、必要があれば次回講義に関連する URL 等を紹介する。

・各種白書（情報化白書、情報通信白書、情報サービス産業白書、等）、@IT、日経 BP 等の情報サイト

受講に当たっての留意事項

- (1) 外部講師講義では積極的質問すること。
- (2) 講義情報、受講レポート、プロジェクトチーム活動は、Campusmate 等電子的手段を活用する。
- (3) 授業時間の外に、レポート作成やプロジェクト活動にある程度の時間をかける必要がある。
- (4) 外部講師講義のテーマ及び授業順序は入れ替わることがある。

学習到達目標

(1) 5 つの講義テーマ関連領域についての最新の知識を獲得し、その要点を説明できる。(受講アンケートと受講レポートの提出 : 35%)

(2) プロジェクトチーム活動を通じて、与えられた制約下での業務の進め方、リーダ役実践によるチームまとめ能力、チーム活動手法などを習得する。(プロジェクトチーム活動及び成果報告 : 65%)

JABEE

(2017 年度生以前) 関連する学習・教育到達目標 : F, G

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習